

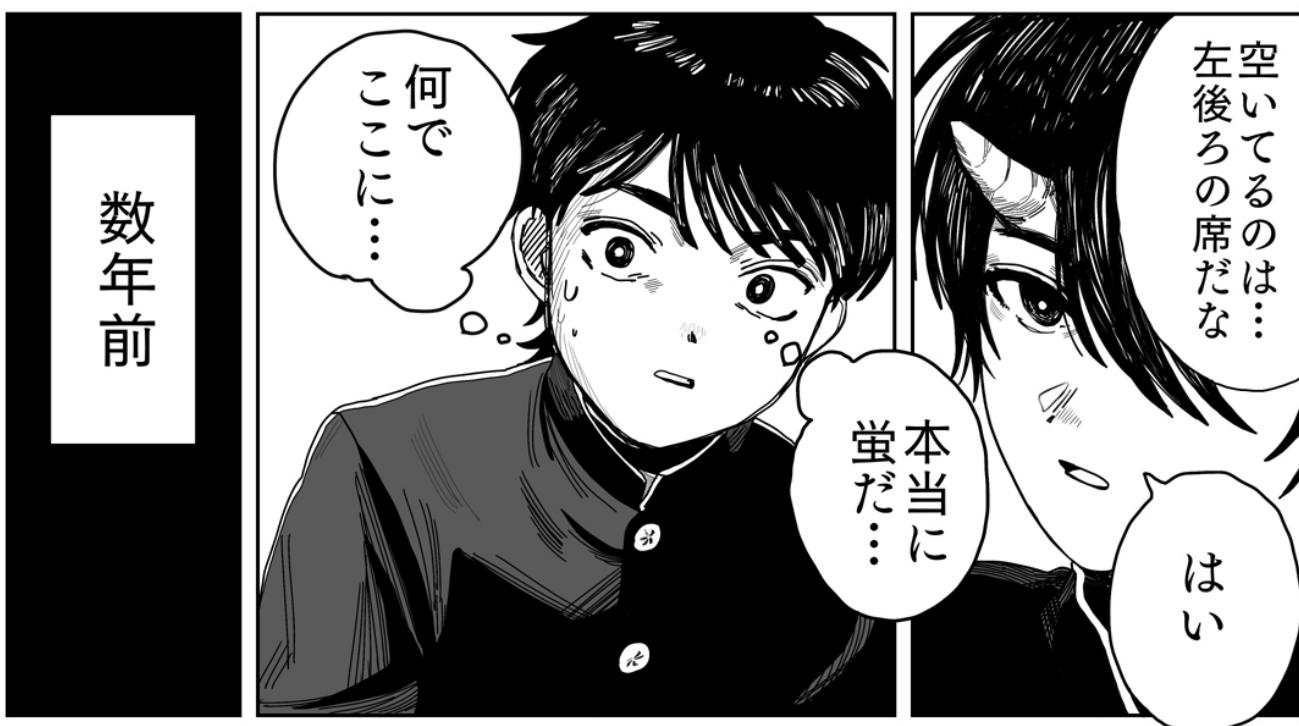


鬼の妖光

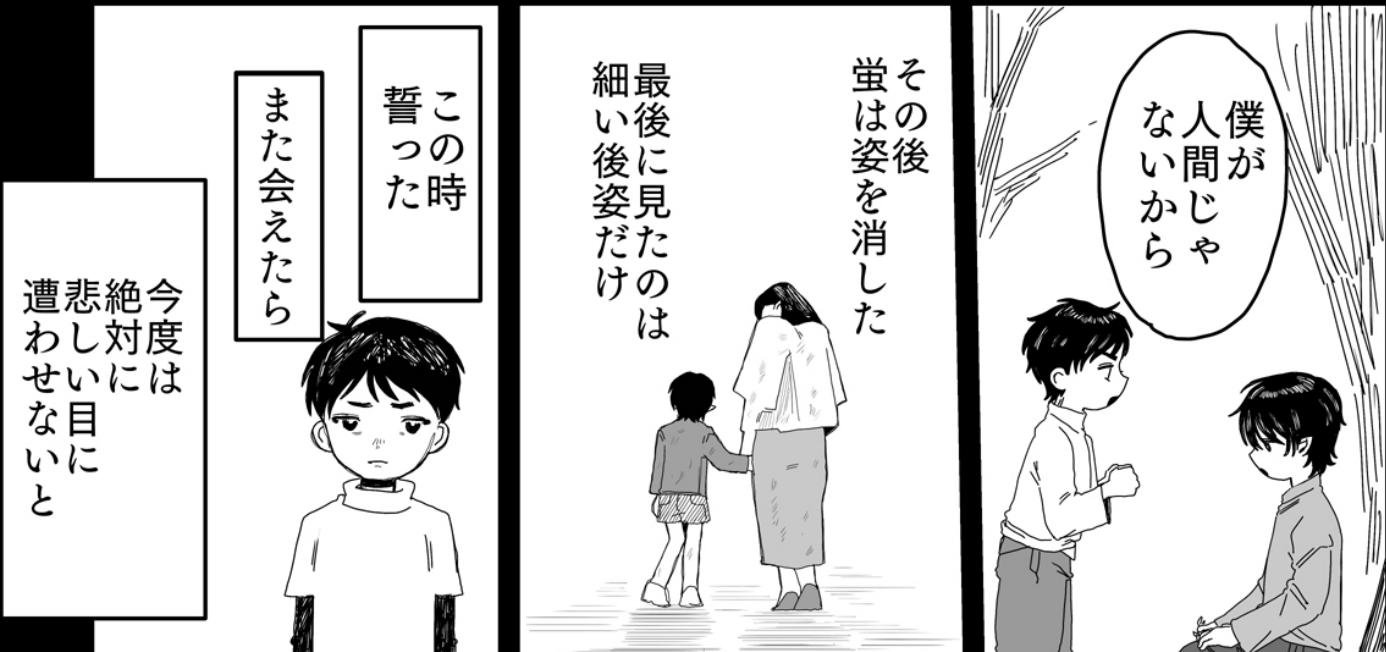
伊藤 涼子











お前
全然変わつてないな
すぐわかつたよ

久しぶりだな
元気してたか？

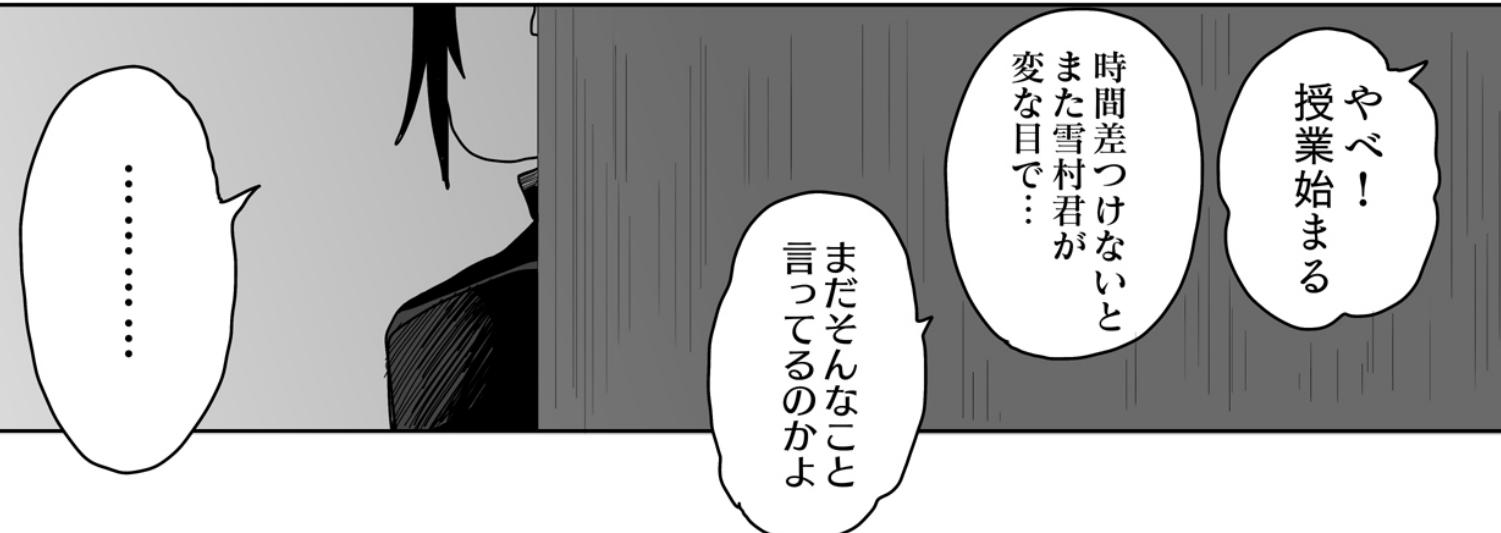
雪村君

萤

ばっ



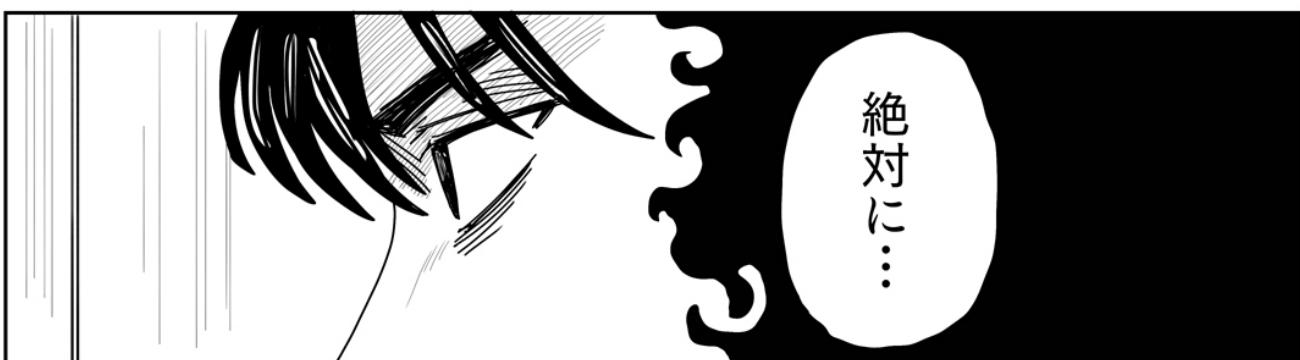




時間差つけないと
また雪村君が
変な目で…

やべ！
授業始まる







螢は顔立ちも良いし
高等教育を受けたから
高価な値がつくとか
言つて……

妖は人に憑りつく化物だが
貴重な種族だから
年頃になると物好きに
買い取られるんだ

取引？

知らないのか

大抵はそうだろ

母親が売ったんだ

?????

誰がそんな

雪村はちょっと
神経質体質
なのかな？

おいおい
どうしたんだ
大丈夫か

ゲ
ホ

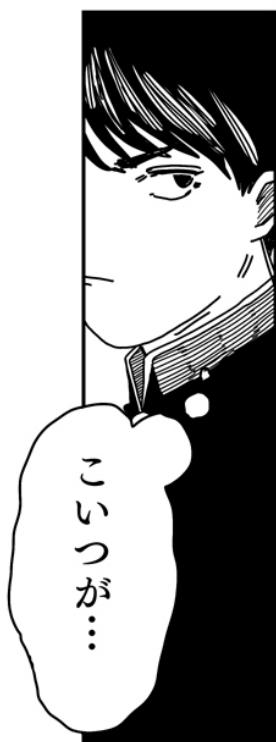
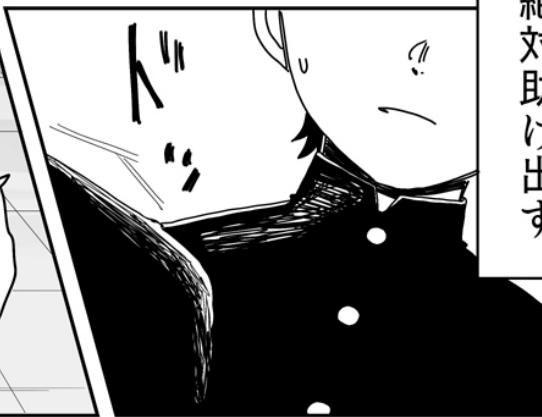
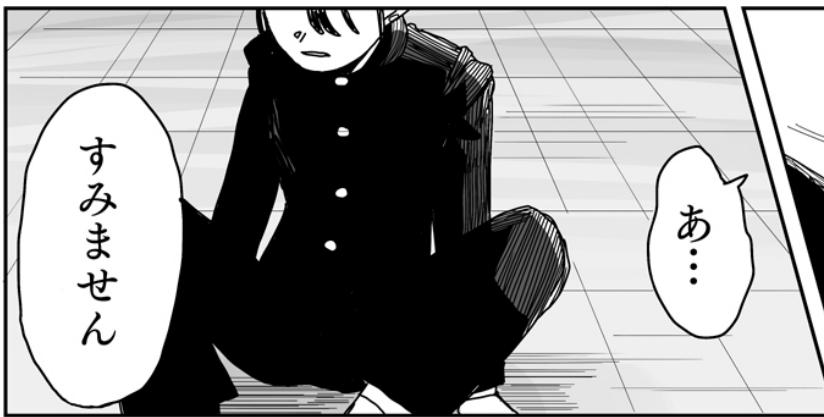
う



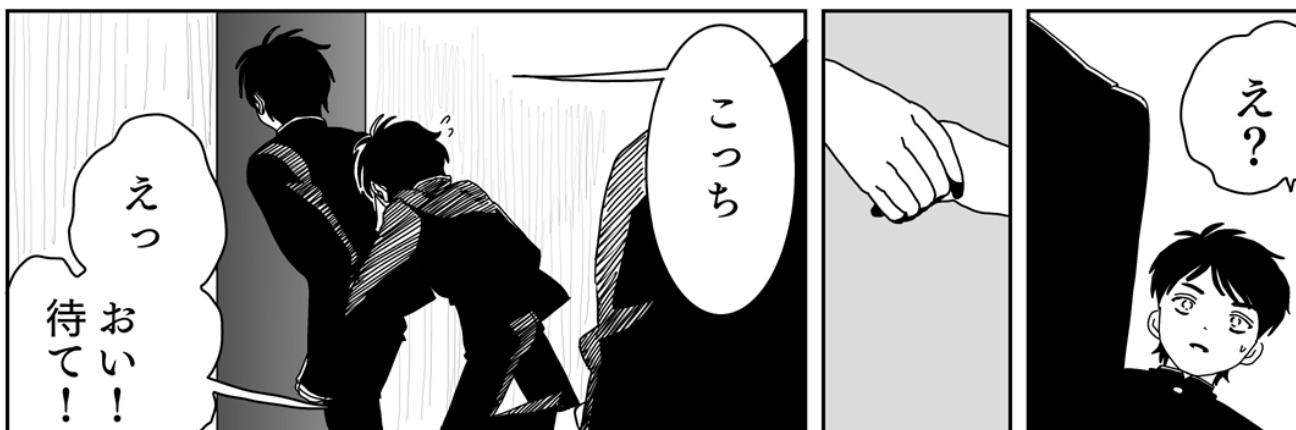




絶対助け出す



そこの方!



その玩具に

殺されるんだ
貴方は……



螢じゃないの

君



僕は螢を模してつくられた商品

そ

螢が死んだ

時の予備

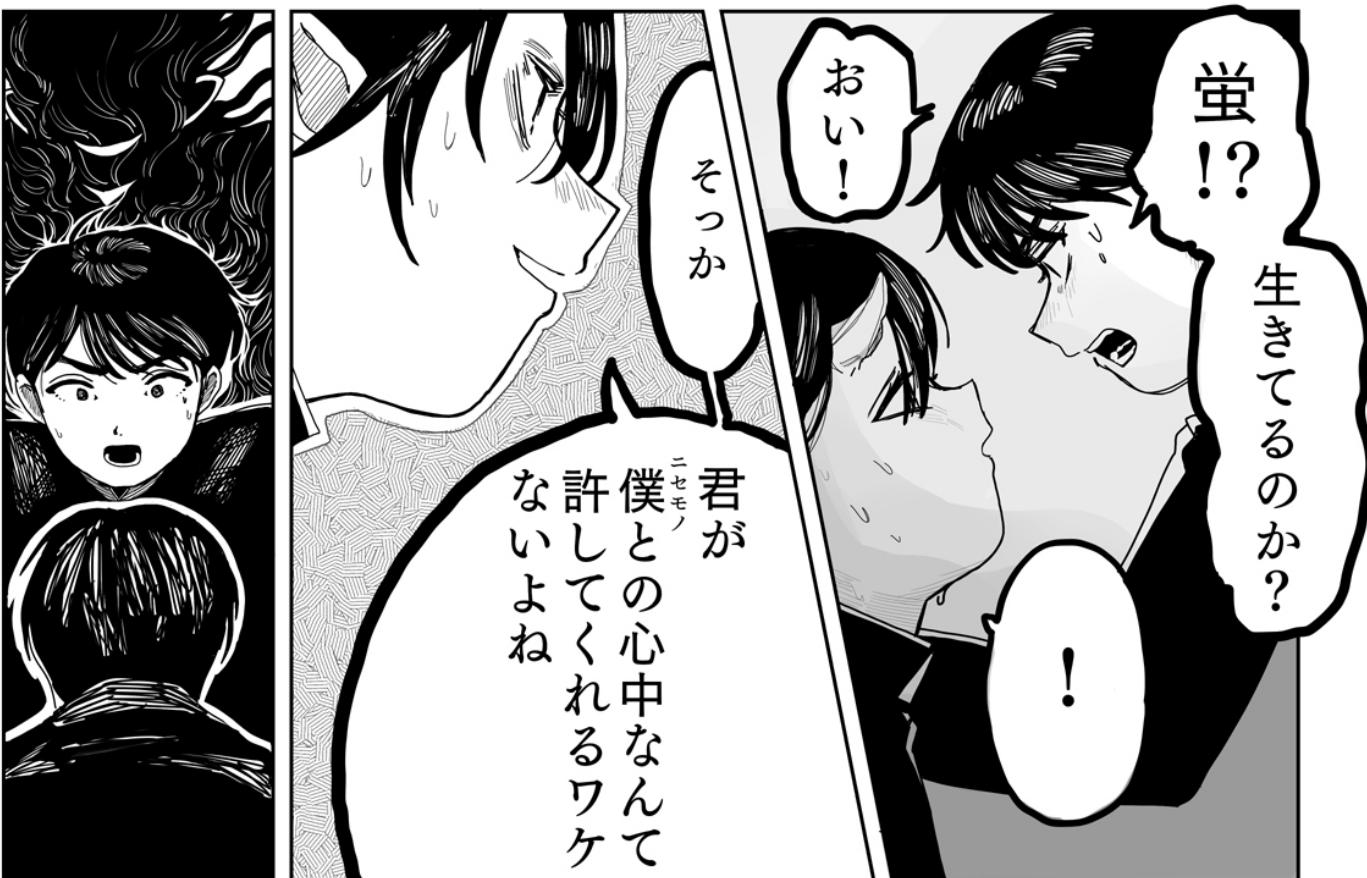
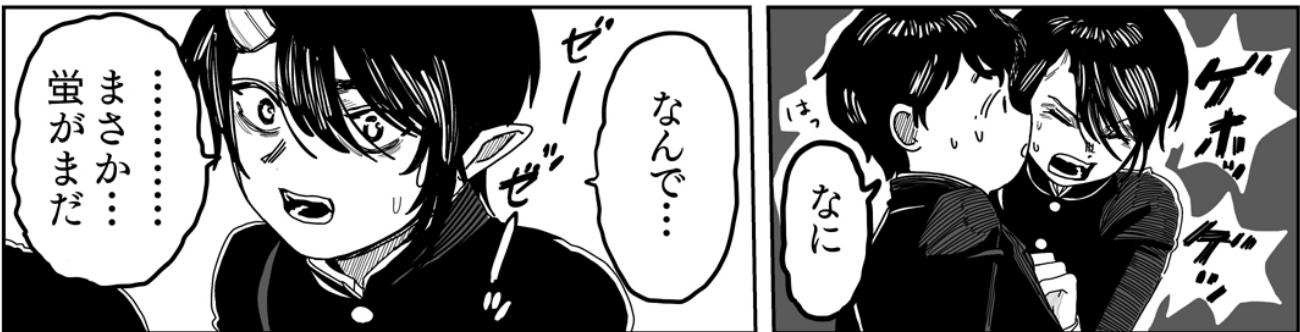
そん

落ち着いて……
ゆっくり話を
しよう

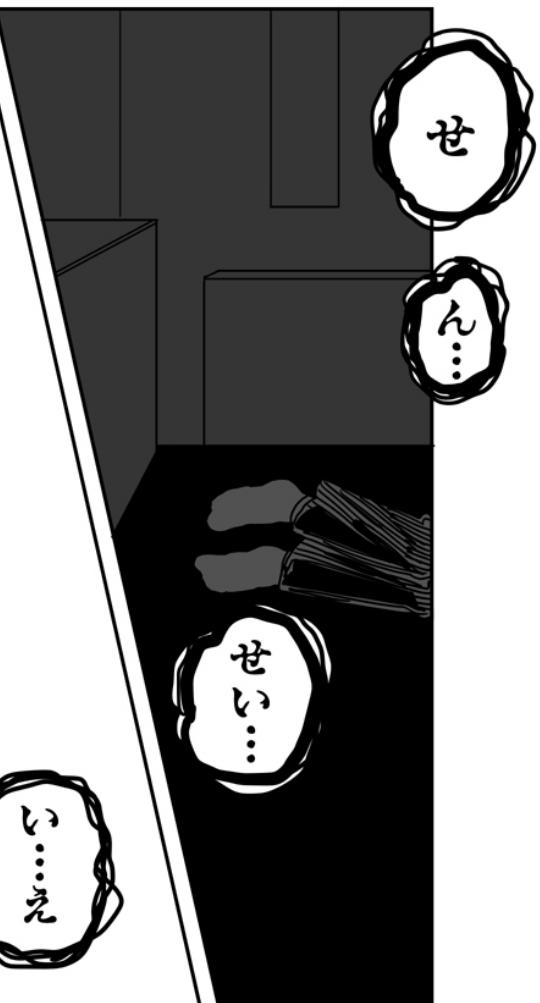




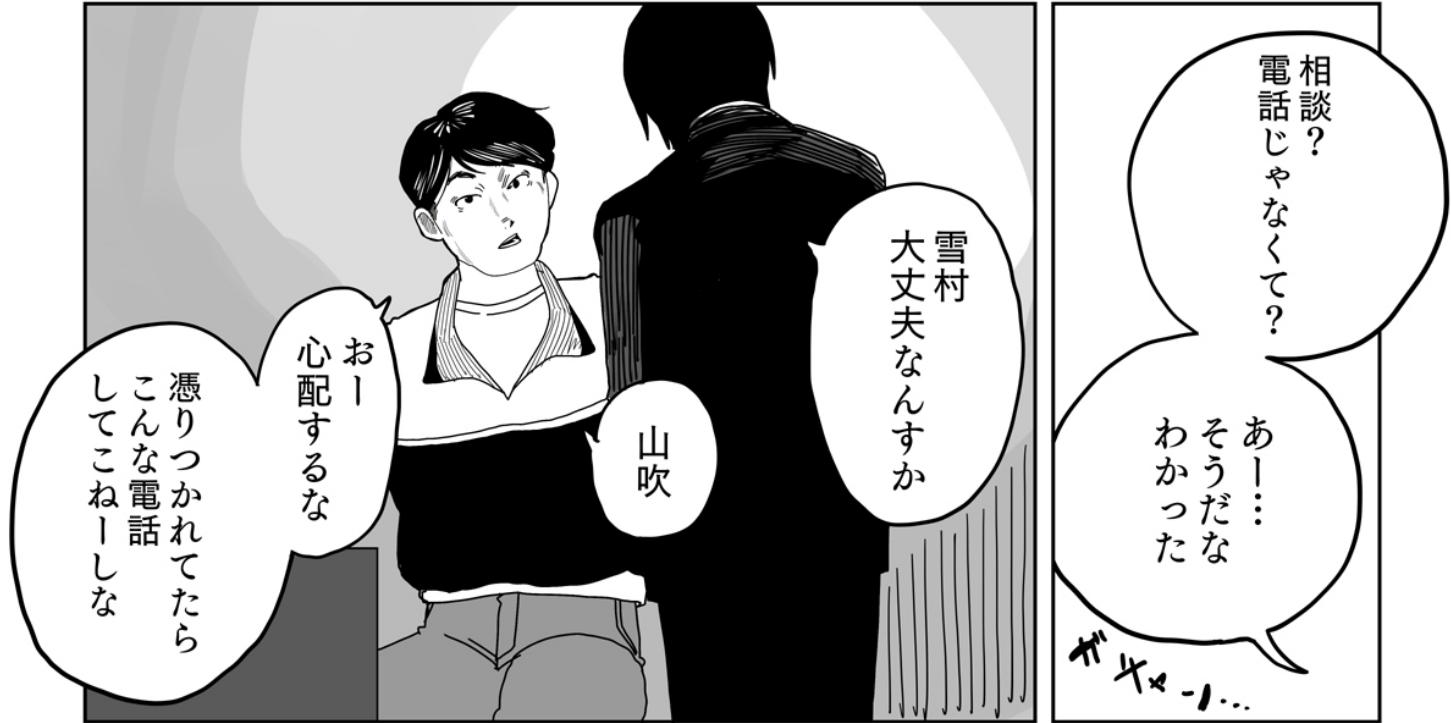


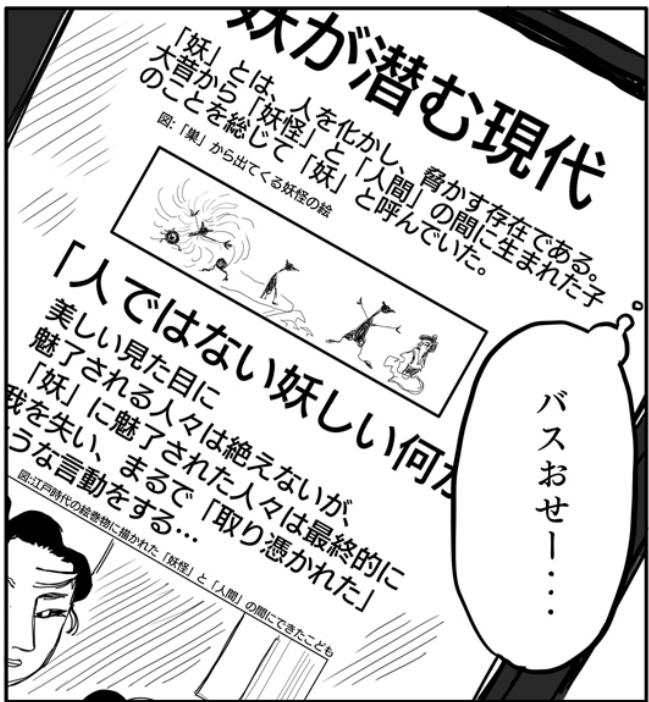


生きてるのか？









ボ
リ
ー
ー
ー



すまん雪村



友達だからな

これからも
ずっと



よし
着いたぞ



♪
〃
〃
〃





ごめん…
遅くなつて

螢



何?



俺はずつと
螢といふよ



螢を
守れるなら
俺は
なんでも…

じゃあ

一緒になろう

雪村君

え

キーノ



す
ご
く
幸
せ
だ
よ

